

報道関係各位

岩手県立大学防災復興支援センター

災害・防災学生ボランティア育成のための「震災を学び、防災を考える現地学修」（陸前高田）の実施について

本年4月に設立した岩手県立大学防災復興支援センターでは、災害・防災学生ボランティアを含む人材育成をミッションのひとつとして掲げております。

今般、その一環として、本学学生を対象とした現地学修を陸前高田防災減災フィールド及び東日本大震災津波伝承館等の御協力のもと、陸前高田市にて行います。当センターとして学生対象の課外事業を行うのは初めてであり、今後も、本学が取り組む防災復興活動の主軸を担う学生の成長を期待して実施します。

当日の取材についてよろしくお願いたします。

記

- 1 日時 令和5年11月25日（土）10:00～15:15（現地滞在時間）
- 2 場所 陸前高田防災減災フィールド及び東日本大震災津波伝承館
- 3 参加者 滝沢キャンパス及び宮古キャンパスの学生24名（希望者）、教職員
- 4 内容
 - 10:00 陸前高田防災減災フィールド体験学習 @3.11 仮設住宅体験館
生き延びるための知恵を身につける「避難所に行かない避難」体験
 - ①1人2㎡体験… 避難所ひとりあたりのスペースを体感、在宅避難ができるように自宅の耐震化や家具固定の必要性を学ぶ。
 - ②トイレの準備… トイレに困らないための対策として、ビニール袋と凝固剤を使用した実験を行う。
 - ③地元の方々との炊き出し体験（昼食）
 - 13:15 東日本大震災津波伝承館見学（伝承館解説員による館内見学）
 - 14:15 高田松原津波復興祈念公園パークガイドによる震災遺構見学
 - 15:15 終了

【問合せ先】岩手県立大学防災復興支援センター 杉安（副センター長）
川崎（事務担当）

TEL : 019-694-3330 / FAX : 019-694-3331

Mail ipu-bousai@ml.iwate-pu.ac.jp

